

事務局だより ● 5月・6月合併号

仲夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
どちら様も、体調を崩されたりしていませんか？ここ数日、急に梅雨らしくなりましたね。
にわかには叩き付けるような激しい雨が降ったかと思えば一転、太陽が強い陽差しで地面を蒸し返し、
一気に脱衣所のような蒸し暑さに。体に堪えます。

そんな中、お米を作っておられる方と話をしました。機械は共有なので、地区で決めた日に早朝から田
植えをします、雨ならカッパを着て。前後には苗作り・畦板差し・代掻き・葉撒き・苗箱運び・植え次ぎ
等々。他にも日々の草払いに、田祈祷・・・。未知の用語を尋ねれば、作業が見えるかの様にわかりやすく
教えてくれます。体に染み込んだ手順がそのまま、頭の中で整理されているからでしょう。
一朝一夕では済まない、四季を通じた手入れを要する重労働が目に見えて来ました。

何の仕事も楽なことはありませんが、今日もどなたかの一生懸命のもとで暮らしているんだなぁ、と
実感しながら、お弁当箱のふたを閉めました。「ごちそうさまでした。」



さてと、話が梅雨からご飯に飛びました。お団子から、花に戻りましょう。麗しき地区のお花の話題です。
コミュニティの会議で、「こんな活動をしているのを全然知らなかった！もっと広報をしっかりと！」というこ
とで、季節を過ぎましたが今回一面を飾るのは、環境整備部会（山口美智雄部会長）の活動、耕作放棄地・農
閑期の土地の“花いっぱい運動”です。去年まではコスモス、今回は初のれんげ草の種を蒔いて頂きました。

不動地区の宮崎一徳さんや周辺区長さんの呼び
かけで、不動地区や湯野田区境の土地を所有す
る方々に種を蒔いて頂きました。10月初旬に稲
刈を終えた後の田の土を起こし、種蒔きは11月
10日頃でした。とても寒かったこの冬を越えた
れんげ草は春に人々の目を楽しませた後、土に鋤
き込まれ肥料となって、初夏の水田や緑地の糧と
なりました。関係者の皆様に感謝申し上げます。



撮影:30年4月13日（下不動区・交番手前）

3月末の会計報告用写真撮影時には花もまばらでしたが、2
週間後には見事なれんげ畑になっていました。透ける貝がらの様
に繊細な花びらは、白～うす紫～紫色を含み、周りの草との色
彩・高低差バランスともに圧巻のコラボを披露してくれました。

来春四月、
見に来てね！



今年もお世話になりました

上不動区 新兵衛さんまつり と 宮田さんの シャクナゲ園



しょうとくひ
吉村新兵衛翁 頌 徳碑前、
村上新市長の挨拶



新兵衛さんは助けられた命の意味を考え、自分に何が
できるかを問い、尽力された。その魂を受け継ぎ、私
達も嬉野の未来作りへ繋げていきたい。三五〇年前の
忠義と勤勉の証を広く知って頂く活動を進めたいと
思う。」と挨拶され、今年も肅々と祈りの時が過ぎて行
きました。また、大地の恵み、筍料理の振る舞いも変
わらぬ美味しさでした。区民の皆様には感謝致します。

平成三十年四月十三日、今年も
上不動区・吉村正之区長のもと
茶祖・吉村新兵衛翁の遺徳を偲ぶ
新兵衛さんまつりが執り行われまし
た。天候にも恵まれ、高台にある
頌徳碑前では御住職の読経に続き、市
長、県議員・市議会議長他が挨拶をさ
れました。村上新市長は「現在、茶の
販売等の環境は厳しい状況にある。



帰り道の定番コースとなりました宮田英敏さんと奥様の手作りシャクナゲ園です。撮影ポイントを選びすぐるのが忍びない程、あれもこれも美しい！

あえて昨年と同じ構図を狙いました。そこへこの抜けるような青空と、虚空蔵山の雄姿の借景・・・そして何より、迎えてくれるご夫妻ののどかな雰囲気が一番の魅力です。これからもお元気で、お庭を見せて頂きたいと思ひます。地元の宝ですね。

次号は、轟小稚魚放流体験の話題を掲載予定です

轟・大野原コミュニティ 0954-43-3256
嬉野町岩屋川内甲369 (文責：谷山佳世)



健康福祉部会
春の健康
ウォーキング湯野田
5月19日(土)
歩いて来ました



カラッとした快晴に恵まれたこの日は、湯野田区のご協力を頂き、約5kmの木場コースをウォーキングしました。子供15名大人26名参加、写真は子モグラを発見したところです。